

チタニア・ハイコートコーティング TITANIA HIGH COAT COATING

耐久性と基本特性

膜の耐候性・耐薬品性

	試験方法	試験条件	光触媒性能・外観	性能変化率
耐水性	サンシャイン・ウェザーメーター	2000時間	異常なし	150%
耐酸性	5%硫酸	96時間	異常なし	99%
耐アルカリ性	水酸化カルシウム飽和溶液	96時間	異常なし	95%
耐塩水性	塩化ナトリウム3%	96時間	異常なし	99%
耐熱性	80℃乾燥機に16時間入れ8時間放置	10サイクル繰り返し	異常なし	99%
耐加熱冷却性	20℃水中18時間 → -20℃空気中3時間 → 50℃空気中3時間放置	10サイクル繰り返し	異常なし	82%
耐付着性	JISK5400基板目テープ法	露間間隔1mmマス目100個はがし	異常なし	—
(各種耐候性・耐薬品性) 試験後の付着性	JISK5400基板目テープ法	露間間隔1mmマス目100個はがし	異常なし	—

性能評価は各種試験後、標準基板に対して

膜硬度

	ガラス	SUS	塗装	ポリカーボネイト
初期	8 H	6 H	塗装硬度 -H	基板硬度 -2H
最終(1~2ヶ月後)	9 H <	9 H <	塗装硬度 -H	塗装硬度 -1H

- 常温施工のため、施工後2ヶ月半～3ヶ月をメドに性能が安定します。コーティング面は実用上十分な強度を有しておりますが、安定後も造膜面へは絶対に触れないようお願いいたします。
- 弊社独自の光酸化防汚機能により汚れ付着を軽減し、雨水などにより自然に汚れが流れますが、手動噴霧器及びホース等にて散水していただければ、より効果的に汚れを流すことができます。
- 疎水性塩素化合物が多い地域の水道水散水は撥水する可能性があります。但し、太陽光等により数日で復元します。
- カーテンウォール、タイル、石などの洗浄の際、薬剤(酸、アルカリ、フッ化水素など)によってはコーティング面の薄膜が侵されることがありますので、コーティング面の養生を十分に行ってください。

※汚れに関しては、環境条件により大きな差があり、また、汚れの程度の判定も個人差があります。ご採用にあたっては十分ご注意ください。